

さわだせいみつ

## サワダ精密(株)



公式サイト

姫路市広畑区吾妻町1丁目39番地 ☎079-239-2225

サワダ精密では会社を仕事だけでなく人間的な成長の場と位置づけ、若いうちからさまざまな活動への参画を促し、自ら考え、決断する機会を通じて人間力の養成を図っています。

👑成長期待企業

👑令和2年度 ひよこ仕事と生活のバランス企業表彰

## 当たり前のことを当たり前に行う



人財共育にとても力をいれています。  
仕事も遊びも全力で！それがサワダ精密です。

姫路市内に展開する5つの工場に計70台迄

## 一人の人間として成長する場に

新入社員の採用内定を決めた後に澤田社長がまず行るのが、内定社員宅の家庭を訪問し、採用を決めた理由や会社の考え方を親に伝えること。「結婚を申し込むような気持ちで身が引き締まる瞬間」と言います。同社では、5つの委員会活動のリーダーや社員旅行の企画などを若い社員に委ねることで「自ら考え、決めたことで小さい成功体験を重ね、それを仕事にも広げてもらえたら」と狙いを説明します。「社員として、そして一人の人間として会社が成長を促す場になれば」と思いを語る澤田社長。そうした取り組みが取引先

い工作機械を保有し、クルマのモーターを製造する設備の部品や発電所のタービンの部品など製造しています。「設計から施工、組み立てまで一貫して手掛けられるところがよそにはない強み」と澤田洋明社長。一方で「ものづくりの技術は機械に頼る部分が大きいため差別化を図るのは難しい。サワダ精密と仕事をしたいと思ってもらえるものがない」との思いから力を入れるのが人間力の養成です。社員全員のバッジには「出したら片づける」「感謝の気持ちを伝える」など社員一人ひとりが選んだ標語を掲げ「当たり前のことを当たり前に行うこと」を徹底しています。

からの信頼にもつながり事業の成長にもつながっています。



ただの“仕事”というくりくりでは終わらせません！自分らしくいきいきと楽しく働く場所

## 企業データ

■設立(創業)/1988年

■資本金/4,250万円

■売上高/12億1,891万円(2020年10月期)

■従業員数/83名

■平均年齢/35.1歳



スイコーは、1966年にオランダから回転成形による樹脂成形法を国内に初めて導入した。以来、幅広い産業向けの大型容器から遊具まで多彩なポリエチレン製品を製造している。

👑令和元年度 ひょうごコンリーワン企業  
👑成長期待企業

## 回転成形品の社会との関わり



スイコー株式会社 本社

回転成形法は、粉末樹脂を金型に投入、それを回転させながら、加熱・冷却する手法で

ず。金型の製造コストが抑えられるため一品一様のオーダーに応えやすく、また継ぎ目なく一体的に成形品を作ることができます。これらの製品は、耐久性が高く、耐薬品性に優れています。

そのメリットを生かして、さまざまなポリエチレン用品を生産しています。最大の大きさでは、高さ7メートル、容量5万リットルを誇る大型容器を供給し、薬品貯槽や排水処理するためのタンクなどとして活用されています。また、災害発生時には生活用水の運搬・貯水用として被災地で活用されている容器、さらには寸断された道路への道路防護柵も供給しています。

## 風通しの良い社風で“脱容器”も積極化

近年は容器だけに頼らず、幅広い用途向けに製品を開発しています。その一つが遊具。鉄製と比べて熱を持ちにくく、カラフルな色彩やデザイン性に優れるメリットを生かし生産量を増やしています。今後は、静電気が発生しにくい素材や透明なポリカーボネートなどの新たな素材も活用し提案の幅を広げていくとしています。

上司との年4回の面談機会を作るなど風通しの良い社風が特長の同社。2020年11月に社長に就任した横山俊介さんは「会社を第二

の家族のように思ってもらいたい。子育てや介護など家庭のことも相談しやすい会社にしていきたい」と話します。創業59年を迎えた今、「100年企業に向けてより強靱(きょうじん)でしなやかな会社にしていきたい」と意気込んでいます。



子供たちの未来を育む遊具

### 企業データ

■設立(創業)/1963年  
■資本金/4,800万円

■売上高/41億円(2021年8月期)  
■従業員数/140名

■平均年齢/41.5歳

せいわこうぎょうしょ

# (株)精和工業所

伊丹市北本町3丁目105番地 ☎072-782-0281



公式サイト

温水タンクやリチウムイオン電池ケースなどステンレス素材の溶接技術で強みを持つ精和工業所。働く人、地域の人が誇れる企業を目指して、自社商品の開発にも力を注いでいる。

## 薄いステンレスの溶接技術に強み



ステンレスの溶接風景

厚さ1mm以下の薄いステンレスをつなぎ合わせる溶接加工技術を得意とし、給湯器の温

水タンクやコンビニエンスストアのコーヒーマシン向け熱湯タンク、リチウムイオン電池ケースなどを製造しています。できあがった製品は温度、圧力、水質やその変化に耐えられる性能や精度が求められるため、溶接時の電流量、酸素遮断、専用器具開発など、ノウハウを組み合わせながら最適な条件で加工を行っています。

顧客からの厳しい要求に応えるべく独自の検定試験による資格制度を設けているのも特長の一つ。製造現場で働く女性パート従業員が溶接加工に興味を持って資格取得に挑み、正社員に登用された事例もあるそうです。

## 消毒液ディスペンサーなど自社製品も強化

「地域の人に誇りに思ってもらえる会社になることが目標」と話す原克彦社長。そこで現在力を入れているのが自社ブランド商品の開発です。すでに地域の酒造会社の要望に合わせて開発したホットビールサーバーを商品化。コロナ禍に合わせて2020年に商品化した、消毒液ディスペンサーは、来客の多い施設でも円滑に対応できるよう大容量で瞬時に噴射できる構造とし、地元の伊丹市などへ寄贈。現在、多くの病院や大学などで採用が進んでいます。「ここで働いていてよかったと思える会社を目指し、社員が一体感を持って

働ける風土をつくって  
いきたい」と話して  
います。

自社商品  
大容量消毒液ディスペンサー

### 企業データ

■設立(創業)/1962年  
■資本金/2,400万円

■売上高/38億円(2020年9月期)  
■従業員数/234名

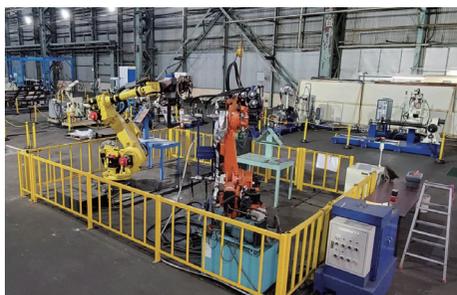
■平均年齢/43.0歳



高丸工業は、ものづくりの現場の作業に合わせ産業用ロボットを組み上げるロボットシステムインテグレーターとして、労働力不足や後継者不足に悩む中小企業へのロボット導入を後押ししている。

- 🏆平成25年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 選考委員会特別賞
- 🏆ひょうごクリエイティブビジネスグランプリ2012 兵庫県知事賞
- 🏆成長期待企業
- 🏆兵庫県立地支援企業

## 中小企業のロボット導入を支援



広い工場には国内主要7メーカーの産業用ロボットを常設

産業用ロボットとは、人間でいう肩から手首までの動きを自動化したアームロボットを指します。ロボットシステムインテグ

レーターは、現場で求められる作業に合わせアームロボットの手に当たる部品やその動きを制御するプログラムを開発し、最終製品に仕上げる役割を果たします。社長の高丸正さんはこれを「ロボットに命を吹き込む仕事」と言います。

同社はロボットシステムインテグレーターとして40年以上の歴史を誇り、開発だけでなく導入前テスト、コンサルティングまでを担うことでロボット導入を支援しています。「労働力不足や技能承継、少量多品種生産など中小企業ならではのニーズも踏まえサポートできることが強み」と高丸さんは言います。

## 高校生向けの見学会も開催

それぞれの中小企業で産業用ロボットを扱うには労働安全衛生規則に基づく資格が必要で、同社ではその資格取得ができる特別教育講習の場も設けています。昨年は約1,100人の受講者を受け入れました。

また、これからのものづくりを担う若い人材にロボットへの興味を持ってもらおうと、同社では高校生向けのロボットセミナーや見学会を行っています。「パソコンやスマホの扱いに慣れた高校生は理解も早く、現場を見てかっこいいと言ってくれます」。

こうした中小企業のロボット導入の取組

みは「日本を世界一のものづくり大国に」という思いに支えられています。



ロボットティーチング作業の様子

### 企業データ

■設立(創業)/1967年  
■資本金/8,500万円

■売上高/9億656万円(2020年8月期)  
■従業員数/26名

■平均年齢/40.4歳

なかたこうげい

## 中田工芸(株)

豊岡市日高町江原92 ☎0796-42-1131



公式サイト

高級ハンガーの代名詞としてギフト市場を強化している「NAKATA HANGER」。また、中田修平社長自身、育児休業を取得するなど働きやすい環境づくりも大切にしている。

👑ひよごクリエイティブビジネスグランプリ2019 兵庫県知事賞  
👑成長期待企業

## ストーリーを大切にギフト市場狙う



ハンガーの可能性を追求し、その魅力を全国・海外に届けています

ハンガーづくりの工程は、ブナなどの木をカットするところから、複数の番手のサンドペーパーで磨き、塗装に至るまでの大半を手作業に頼っています。

戦後間もない1946年に木製ハンガー

メーカーとして創業して以来、アパレルや百貨店などBtoB向けで成長してきましたが、2007年に東京・青山にショールーム「NAKATA HANGER」を開設して以来、こだわりのハンガーをBtoC向けにも発信しています。「いいものを造れば売れるというわけではない」と社長の中田修平氏。ギフト用でかつ「ストーリーが語れること」を主眼に置き、市場をつくってきました。その一つが「ブライダル」の引き出物向けに「福を掛ける」のコピーが評判を呼んでいます。もう一つが「人生とともに歩むハンガー」として「卒業記念」向けで売り上げを伸ばしています。

## 社長自ら育児休業を取得し、働きやすさ追求

海外市場の開拓にも挑んでいます。3年前、香港のテラーで行った展示即売が好評で、現在はシンガポールやアメリカなどのほか、テラーの本場イギリスの市場開拓も進めているところ です。

日本らしい丁寧なものづくりで世界に挑む姿勢にひかれ志望する学生も増えているとのこと。

そこで長く働いてもらえるよう、19年7月には中田社長自身、第2子の誕生を機に1カ月の育児休業を取得しました。「僕のあとに

男性社員の育休取得者が続いてくれれば」と考えています。



年齢や性別に関係なくチャンスがあり、皆が協力し合う社風です

## 企業データ

■設立(創業)/1946年  
■資本金/3,000万円

■売上高/6億8,500万円(2021年4月期)  
■従業員数/64名

■平均年齢/40.0歳



開湯1300年を誇る城崎温泉で純日本旅館の西村屋本館と西村屋ホテル招月庭を運営する西村屋。「地域と旅館は一運托生<sup>いちうんたくせい</sup>」という思いのもと観光で地域を盛り上げようとしている。

## 成長産業の一翼として地域に貢献する



歴史と風格を感じさせる西村屋本館の玄関

まち全体が一つの旅館としておもてなしするという共存共栄の精神が浸透している城崎

温泉にあって160年旅館・ホテル業を営んできました。城崎温泉を擁する豊岡市も人口減少が大きな課題となっている中、「日本における数少ない成長産業の一つである観光産業の一翼として、地域の人口減少の歯止めにも貢献できれば」と西村総一郎社長は語ります。2011年の社長就任以来、力を注いできたのが訪日外国人旅行客の獲得。パリに情報発信拠点を設立したほか、海外で開かれる旅行博にも積極的に参加しています。また、インバウンドに対する

おもてなしを強化すべく、阪神間にも積極的に足を運んで採用に力を入れてきました。

## 地に定着してもらうための投資を欠かさず

同社のサービスの特長の一つが客室で食事をしてもらう「お部屋食」。手間をかけたサービスを維持していくため、ITを活用しそれぞれの社員の休みの希望と宿泊者の予約情報とを照らし合わせて自動的にシフトを作成するシステムを導入し、働きやすい環境を整えています。また、独身寮のほか、結婚後も働けるよう家族用社宅の整備にも力を入れています。「私が引き継いだときよりもいい状態で会社も地域も次世代に渡したい。それが私の

使命だと思っています」。7代目当主として、城崎温泉の持つDNAを受け継ぎながらさらなる発展を期しています。



温泉街風景

### 企業データ

■設立(創業)/1951年  
■資本金/2,000万円

■売上高/27億1,000万円(2021年8月期)  
■従業員数/307名

■平均年齢/35.8歳

のーりつ

# (株)ノーリツ

神戸市中央区江戸町93番 ☎078-391-3361



公式サイト

「新しい幸せを、わかすこと。」をビジョンに掲げ、給湯器のリーディングメーカーとして日本のお風呂文化を支えてきたノーリツには「人を大事にする文化」が根付いています。

くるみん認定企業

## 常に新製品を他社に先駆けて開発



明石本社工場敷地内には工場だけでなく開発の施設もあります

ガス・石油給湯機器とガスコンロの製造を主力事業として展開し、日常生活に欠かせないお風呂と厨房を縁の下で支えるノーリツ。

## 失敗をしても、挑戦をたたえる

同社を支えるのが「たとえ失敗をしたとしても次どうするかを大事にする社風」と人事企画グループの藤田純子さんは言います。リーダー職を目指す若手社員向けには広い視野を養うため社外人材と交わる研修等の学習機会を設けています。「長く、安心して働き続けられるように」とテレワークの推進やコアタイムのないフレックスタイム制の導入、明石本社工場における社内保育園整備、健康経営の推進など「人を大事にする文化」も根付く同社。「常識にとらわれず未来を切り開

お湯張り完了時に流れるメロディーと「お風呂が沸きました」のなじみの音声にピンとくればそれは「ノーリツ製」です。

創業来常に利便性、安全性、省エネを追求した商品を先駆けて開発し、「新製品のノーリツ」として高い評価を得ており、近年も浴室事故を防ぐ「見まもり機能」、衛生意識の高まりから「UV除菌機能搭載」の給湯器などが加わっています。国内向けには環境問題の観点から低炭素・脱炭素社会に向けた商品開発に注力し、海外向けについてはすでに展開している中国、米国、豪州に加え成長市場である東南アジア向けを強化しつつあります。

くことのできる人を」と藤田さんは求める人物像を語っています。



給湯器の生産ライン

### 企業データ

■設立(創業)/1951年

■売上高/1,838億5,900万円(2020年12月期)

■平均年齢/42.7歳

■資本金/201億6,700万円

■従業員数/2,225名



2019年でん粉ひと筋、創業100年を迎えた。「従業員は家族」「何事も果敢にチャレンジ」のびのびした風土のもと、でん粉の可能性を広げ続けている。

## でん粉の新たな可能性を引き出す



2021新入社員

「でん粉」や「加工でん粉」は、「もちもち」「サクサク」とした食感や、「つや出し」＝「保性」などの品質向上に欠かせず、パンや即席めん、レトルト食品、お菓子、飲料など多くの食品に含まれています。創業時はでん粉卸としてスタート。洗濯糊など工業用でん粉メーカー

に転じ、高度成長期の頃から食品用でん粉へとシフトしました。現在は天然のでん粉を原料にした食物繊維で、おなかの調子を整えたり食後の血糖値の上昇を穏やかにする難消化性デキストリンが多くの特定保健用食品や機能性表示食品に採用されるなど、健康をキーワードに新たなでん粉利用価値を提案し、売り上げを増やしています。また、15年以上にわたり香川大学と共同で「希少糖」の研究開発を行い、国内外から注目されています。でん粉の価値創出に挑み続ける同社の原動力は「こんなことに挑戦してみたいというテーマがあればそれを否定することなく、尊重してやらせてみる風土」と人事部次長の寺園裕之さんは言います。

## 「従業員は家族」という言葉が浸透

「従業員は家族」という言葉が浸透しているのも同社ならではの。「働き方改革」という言葉が浸透するずっと前から定時退社が習慣化、有給休暇も当たり前のように取得しているとのこと。社内は野球、フットサルなどのサークルのほか、部署を超えて自主的にゴルフやテニスを楽しむ従業員が多く、そうした交流の中から何でも言いやすい風土が育ち、ひいては挑戦できる土壌が育まれているようです。



100周年記念旅行（2019秋・北海道）

### 企業データ

■設立（創業）／1919年  
■資本金／1億円

■売上高／526億5,600万円（2020年11月期）  
■従業員数／480名

■平均年齢／42.0歳

もりた

# (株)モリタ

三田市テクノパーク1番地の5 ☎079-568-7800



公式サイト

シェア55%以上を誇る消防車両のトップメーカー。消火、救助の機能を持つ車両だけでなく消防隊員の安全管理システムなども加えた総合防災ソリューション企業として進化を続けている。

## グループ総力で消防ソリューションを提案



1台ごとに異なる仕様に応じて消防車が生産されている

1907年に創業し、日本で初めてガソリンエンジン付き消防ポンプを開発して以来、消防車のトップメーカーとして日本の消防技術発展に寄与してきました。近年は主力のはしご車に加え、ブームを使った消防車もラインアップ。また、水に消火薬剤を加え発泡させることで少量の水で高い消火性能を発揮する消防ポンプ車や、空気中の窒素濃度を上げることで、一切水を使用せずに消火する消防車なども開発。IoT を活用した画像情報による消火活動のサポートシステムなどと組み合わせ、グループ全体で消防のソリューションを提案しています。

## 2年ごとの全員研修で養われる同期の絆

2016年にはダイバーシティ推進室を設置し、新卒採用のうち40%を女性、10%を海外出身者にする目標を掲げ、イノベーションを生み出す基盤づくりを進めています。入社後は全体での研修後、配属先で新入社員1名につき1名メンターが任命されて、新入社員の成長をサポートします。また、入社4年目までの期間は、2年ごとに全員研修を開催し、自身の成長を同期の仲間とともに振り返ります。「各年次のグループ社員全員を集めた研修を頻繁に行っており、同期の絆が強いのが特長」と人財開発課課長の東尾薫さん。一体

感を醸成する人財教育で新商品、新市場開発への挑戦を促しています。



新入社員フォローアップ研修

### 企業データ

■設立(創業)/1907年  
■資本金/10億円

■売上高/非公開  
■従業員数/386名

■平均年齢/39.5歳



神戸市灘区六甲山町一ヶ谷1番32号 ☎078-894-2071

神戸を代表する観光地、六甲山で数多くの施設を展開する六甲山観光。2021年には2つの大型施設がリニューアルオープンし、六甲山のさらなるにぎわいづくりに向けた仕掛けを積極化している。

## 日本最大級のアスレチック施設が誕生



六甲山からの眺望

「都心部から近い場所で豊かな自然、さまざまなレジャー、眺望を楽しむことができる稀有な観光地」と六甲山の魅力を語る宮西幸治社長。商業施設「六甲ガーデンテラス」、

冬はスキー、夏は日本最大級のアスレチックが楽しめる「六甲山アスレチックパーク GREENIA」のほか「ROKKO森の音ミュージアム」「六甲高山植物園」「六甲ケーブル」などの運営を行っています。

2021年には「六甲山カンツリーハウス」と「六甲山フィールド・アスレチック」とが一体化し、日本最大級のアスレチック施設「六甲山アスレチックパーク GREENIA」としてオープンし、ROKKO森の音ミュージアムもリニューアルオープンいたしました。「こうした強力なコンテンツに加え、施設を周知するための情報発信に力を入れ、集客につなげていきたい」と力強く語ります。

## 外部にゆだねず企画、運営まで担う

六甲山の景観を生かした現代アートの展覧会「六甲ミーツ・アート 芸術散歩」は昨年で12回目を迎え、これまで六甲山に足を運ぶことのなかった若い女性などを呼び込んでいます。こうしたイベントやPR についても社員たちで企画、運営を担っている点も同社の特長です。恵まれた環境の中で音楽、植栽、アートなど自分の好きなことに関われることから新卒者の人気も高いとのこと。「六甲山を世界でも知られた観光地にすること」をミッションに「社員自身がワクワクしながら

新しいことに挑戦してほしい」と宮西社長は若い社員の力に期待しています。



六甲ケーブル

### 企業データ

■設立(創業)/1923年

■売上高/14億6,307万円(2020年3月期)

■平均年齢/39.8歳

■資本金/8,097万円

■従業員数/218名